

赤十字150年

年	できごと
1859	デュナン、ソルフェリーノの戦場で傷病兵を敵味方の区別なく救護
1862	デュナン、「ソルフェリーノの思い出」を出版
1863	五人委員会誕生(1876年に赤十字国際委員会と改称)。赤十字規約、赤十字の標章決定
1864	初のジュネーブ条約調印
1877	西南戦争で博愛社設立(1887年に日本赤十字社と改称)、戦場の負傷兵を救護
1886	日本政府、ジュネーブ条約に加入 博愛社病院開設(1890年から看護師養成を開始)
1888	磐梯山噴火で、日赤初の災害救護活動
1901	デュナンが第1回ノーベル平和賞受賞
1912	皇后陛下から赤十字国際委員会に基金下賜(後の昭憲皇太后基金)
1919	赤十字社連盟(現 国際赤十字・赤新月社連盟)の創設
1923	関東大震災で救護活動
1945	第2次世界大戦終結、戦時救護活動終わる
1949	ジュネーブ4条約の成立
1952	日本赤十字社法制定
1977	ジュネーブ条約追加議定書の成立 日本赤十字社創立100周年
1995	阪神・淡路大震災で救護活動
2009	赤十字思想誕生150周年 近衛忠輝日本赤十字社社長が、アジア地域から初めて国際赤十字・赤新月社連盟会長に就任
2011	東日本大震災で救護活動、復興支援

Our world. Your move.

赤十字150年

赤十字情報プラザ ご利用案内

開館日

月曜日～金曜日(午前9時30分～午後5時)

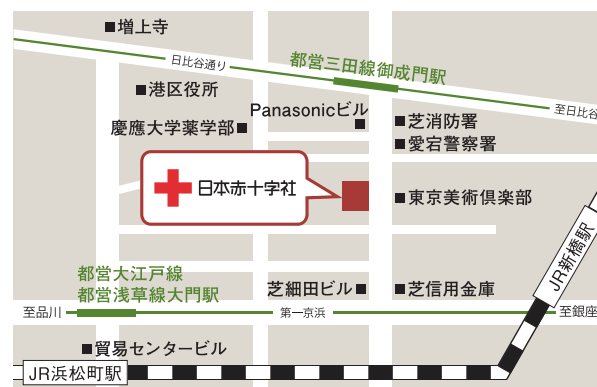
休館日

土曜日、日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、弊社創立記念日(5月1日)

予約

10人以上のグループで訪問を希望される場合や、史料展示ガイドを希望される方は、あらかじめご予約ください。

交通



- JR浜松町駅北口から徒歩7分
- JR新橋駅烏森口から徒歩12分
- 都営地下鉄三田線御成門駅A3出口から徒歩3分
- 都営地下鉄大江戸線・浅草線大門駅A5、A6出口から徒歩5分

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
Tel:03-3437-7580 Fax:03-3437-7581
E-mail:Info@jrc.or.jp URL:http://www.jrc.or.jp

赤十字の活動は皆様から拠出いただいた資金で実施しております。ご支援、ご協力をお願いいたします。



RED CROSS INFORMATION PLAZA

赤十字情報プラザ

図書・史料展示・情報公開
[ご案内]



 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

赤十字情報プラザは
皆様に赤十字の歴史と活動を
知っていただくための「広場」です。

史料展示コーナー

史料や映像、パネルなどにより、赤十字の歴史と活動を紹介しています。赤十字の誕生から、自然災害や戦争・紛争の中での救護活動など、過去から現在、そして未来へと続く赤十字の歩みをご覧ください。



図書コーナー

おもに赤十字関連の書籍・資料を所蔵しています。どなたでも自由に閲覧いただけます。赤十字に関する調査・研究についてもご相談ください。

※書籍・資料の貸し出しは行っていない。

情報公開コーナー

赤十字に関する各種資料を用意し、情報公開、資料閲覧に関する相談をお受けしています。



赤十字情報プラザでは世界に広がる赤十字の歴史と活動を史料や映像でご紹介しています。

森鷗外の筆による国際会議記録

1887(明治20)年9月、ドイツで開かれた第4回赤十字国際会議に初参加した日本赤十字社と日本政府の議事録。日本代表として参加したベルリン留学中の森林太郎(後の鷗外)自筆の議事録です。



【災害救護活動のはじまり】



濃尾地震災害

1891(明治24)年10月の濃尾地震災害で初めて赤十字が養成中の看護婦を派遣して救護活動を行いました。

磐梯山噴火災害

1888(明治21)年7月の磐梯山噴火災害で、日本赤十字社初の災害救護活動を行いました。

【博愛社の設立と活動】



博愛社設立請願書

1877(明治10)年5月1日、元老院議員佐野常民が熊本征討総督本営で有栖川宮熾仁親王(あすがわのみやたるひとしんのう)に提出した請願書。



【国際赤十字の誕生と発展】

アンリー・デュナン著「ソルフェリーノの思い出」

1862年11月、フランス・パリで刊行されたもので、その後、各国で翻訳出版されました。



ナイチンゲール記章

1920(大正9)年、第1回受章者萩原タケが受章したナイチンゲール記章メダル。



赤十字幻燈

石黒忠恵(ただのり)(第4代日本赤十字社社長)が、1891(明治24)年、赤十字の思想と事業普及のため、自ら考案した幻燈機と幻燈板。全国各地をはじめイギリスや中国など海外でも上映されました。

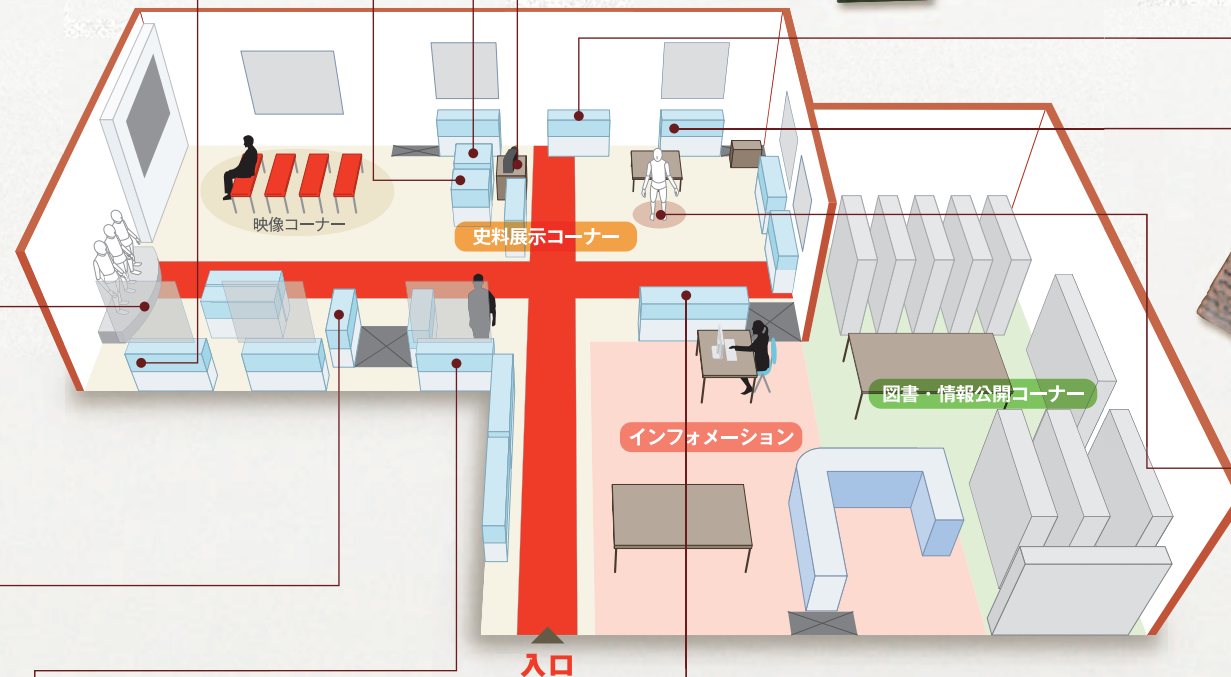
関東大震災時に贈られた救済品のウイスキー

1923(大正12)年の関東大震災時にアメリカ赤十字社から震災救済物資として贈られたもの。ボトルの裏側には、英語で「医療用の使用に限定する」ように明記されています。



原子爆弾に被爆した広島赤十字病院の壁面(タイル)の一部

1945(昭和20)年8月6日に投下された原子爆弾により、広島赤十字病院(現広島赤十字・原爆病院)は、多大な被害を受けました。このタイルは本館に貼り付けられていたもので、表面は熱風で溶けています。



現在の救護員制服、医療セットなど

災害時などに救護員が着用する制服、医療救護に使用する医療セットのほか、被災者にお配りするための緊急セット、毛布、安眠セットなどがあります。



博愛丸(1899-1926)

日本赤十字社が戦時救護に使用するため、英国に発注した病院船。1900(明治33)年の北清事変をはじめ関東大震災時にも、患者の輸送と救護のために活躍しました。